

# 要 望 書

## 国保坂下病院の機能について

平成30年7月

坂下地区区長会・山口地区区長会・川上地区区長会  
坂下まちづくり協議会・川上まちづくり推進協議会  
山口まちづくり協議会・馬籠地域づくり推進協議会  
南木曾町地域振興協議会会長会議

中津川市長 青山節児 様

酷暑の砌 貴職にはご清祥にてお過ごしの際大慶に存じます。また、日頃は、平成の大合併を経て広域化した本市において、どの地区にも目を向けた市政を展開して頂いていますことに敬意を表し、厚く御礼申し上げます。

ところで、やさか地区区長会及び関係まちづくり協議会は、平成28年12月の市議会特別委員会での「公立病院機能についての市長方針」を受けて、「国保坂下病院の機能の存続について」(平成29年2月)を要望し、同年10月には、公立病院改革プランの1回目の検証がされていない中で発表された国保坂下病院の夜間・休日の救急診療受入れ中止に大きな驚きと、言いしれぬ不安を抱き、貴職に地域住民の命を守るための最大限のご尽力を強く要望してきたところです。

しかし、今年の4月に、突然広報なかつがわ紙上で「4月以降の取組み」が公表されました。一方、総務省は「公立病院改革の推進について」(通知・平成27年3月)として、地域医療構想をふまえた役割の明確化を加えて4つの視点を示し、平成32年の黒字化を求めています。国・地方自治体の医療費抑制が喫緊の課題とされ、本来、採算を至上命題とすることに馴染まない医療体制の見直しを市として取り組まざるを得ないこと、逼迫する財政の健全化を図らねばならないこと等、市政の置かれた厳しい状況を理解した上で4月に公表された5項目などに関して、やさか地区住民の要望が依然として根強い内容をまとめ、以下のとおり当地区区長会、関係まちづくり協議会として要望いたします。なにとぞご高配を賜りますようお願い申し上げます。

南木曾町地域振興協議会会長会議



要望事項

国保坂下病院の機能について

要望内容

1, 開業医が少ない当地区においては、以下の診療科を維持する。

また、患者数に見合う療養病床50床を維持する

(維持を要望する診療科)

内科・小児科・整形外科・眼科・耳鼻咽喉科

婦人科・皮膚科・泌尿器科

2, 高齢化の進行に伴い必要性が高まるリハビリ機能、人工透析は継続する。それにより老人保健施設の機能充実を図ることができると考えられる。

3, 治療後の軽度な急性期・回復期の入院、早期発見に資する検査入院等が可能な入院機能として、医師、看護師の確保に特段の努力をされ、一般病床の復活が出来るようにする。

坂下老人保健施設との連携を図り、安心安全な施設として特色を出す。

4, 企業健診(H31.3終了予定)は、健診日を限定し市民病院スタッフを派遣する等して受診率を高め、予防による医療費抑制を図り、命を守る。

5, 常勤医師の招聘について、各方面への働きかけを継続する。また、困難を極める医師及び看護師の確保ができるよう、市独自の施策を進める。